



各 位

平成 20 年 11 月 7 日
株式会社パテント・ファイナンス・コンサルティング
代表取締役 日野 慎二
東京都港区西麻布一丁目 15 番 9 号
電話番号 03-3746-1210

九州技術開発ファンド、フラッシュメモリ用卓上テスト装置開発事業に投資

当社運用ファンドの投資実行に関するお知らせ

当社は、エステイケイテクノロジー株式会社（本社：大分県大分市 代表：代表取締役 宮川末晴、以下「STK 社」）との間で、当社運用のファンドによる投資に関する諸契約の締結をいたしましたので、お知らせいたします。

今回投資の対象となるのは、STK 社による、フラッシュメモリ用卓上テスト装置の開発・製造・販売にかかる事業です。

フラッシュメモリは不揮発性のメモリーで携帯電話、携帯ゲーム機、携帯音楽プレイヤー、デジタルカメラ等に幅広く使用されているものです。これらいわゆる「デジタル家電」の普及に伴いフラッシュメモリの需要が今後も期待される一方で、製造コスト低減が半導体メーカーの大きな課題となっています。本事業は、フラッシュメモリの製造過程において、評価エンジニアの作業効率をアップするために小型の卓上テスト装置を開発するもので、これにより、フラッシュメモリの製造効率が上がることが期待されます。

STK 社は鶴崎海陸運輸株式会社のグループ会社で昭和 50 年の設立以来、大手半導体メーカーに対してバーンインシステムの製造販売を行ってきており、独自の技術やノウハウを蓄積しています。また、本事業のコアとなる技術はこれまで STK 社が国の補助事業等の採択を受けながら研究開発を行ってきたもので、今回はその一つの成果として実用化を行うものです。

当社は、STK 社の持つ特許権及び同社の開発実績や技術、並びにフラッシュメモリ用卓上テスト装置の事業化可能性を総合的に検討し、当社が運用するファンド「九州技術開発 1 号投資事業有限責任組合」（通称：「九州技術開発ファンド」）による投資を決定し、知財証券化のスキームにより、プロジェクト総額 80 百万円の投資枠を設定いたしました。

本ファンドは、フラッシュメモリ用卓上テスト装置事業の開発・製造及び販売のための特別目的会社（SPC）を設立し、実用化のための開発・知財出願・製造等に必要な資金を投資します。STK 社は、同事業に必要な知財等の技術シーズを SPC に投入し、ファンドとの共同



事業を開始します。STK 社は、本ファンド（SPC）の資金と自己資金で開発・量産製造等を行い、今年度内に国内大手半導体メーカーへの納入を目指す予定です。本ファンドと STK 社は、販売による事業収益の分配をそれぞれ受け取る予定です。

本ファンドは、今後も九州地域における技術開発事業の資金調達のニーズに応え、積極的に投資を行う予定です。

【投資事業の概要】

1. 投資事業の名称

フラッシュメモリ用卓上テスト装置の開発・製造・販売事業

2. オリジネーターの概要

会社名：エスティケイテクノロジー株式会社

代表者：代表取締役 宮川 末晴

住 所：大分県大分市三佐 2468 番地 10

H P：<http://www.stk-net.co.jp/>

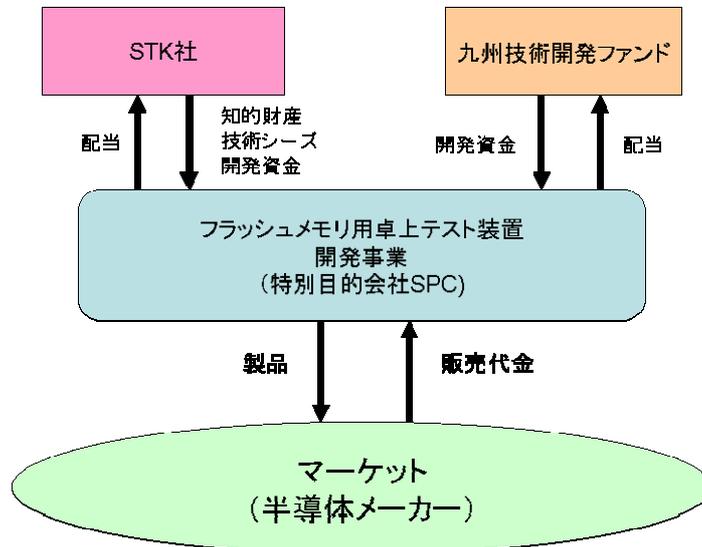
3. 投資総額

80 百万円（コミットメントによるプロジェクト総額）

4. 投資形態

プロジェクトファイナンススキームを活用した、フラッシュメモリ用卓上テスト装置事業における知的財産権及び開発権・製造権・販売権に対する投資

【プロジェクトイメージ】



【製品】



本資料に関するお問い合わせ
株式会社パテント・ファイナンス・コンサルティング
担当：大屋
電話番号：092-846-2319
E-mail：info@ptfc.co.jp

以上